



2022年5月26日

富士通セミコンダクター株式会社
ティーキャピタルパートナーズ株式会社

システムメモリ事業に関する株式譲渡契約の締結について

富士通セミコンダクター株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：曲渕景昌、以下「FSL」）とティーキャピタルパートナーズ株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：佐々木康二、以下「ティーキャピタル」）は、FSLが保有する富士通セミコンダクターメモリソリューション株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：曲渕景昌、以下「FSM」）の株式をティーキャピタルが新たに設立する会社（以下、株式譲受会社）へ譲渡することで合意し、本日、契約を締結しました。今後、両社は2022年9月末を目処に株式の譲渡を目指します。

なお、FSLは議決権30%の出資を当面継続する予定です。

半導体業界では、世界的な再編が続いている中で、昨今は新型コロナや、国際的な社会情勢の悪化により、半導体供給逼迫や原材料が高騰しており、グローバルベンダーとの競争もますます激化しています。このような環境の中、FSLでは2020年3月に、システムメモリ事業を行う100%子会社としてFSMを分社化し、意思決定の迅速化や効率的な事業運営、事業責任を明確化するための体制を構築しました。

今般、FSLは、次世代のシステムメモリLSIの開発や新たなソリューションビジネスへの展開を加速させるため、FSMの株式を株式譲受会社へ譲渡し、FSMの独立性を一層高めるという経営判断をしました。これに伴い、これまでFSMが培ってきたFeRAM（強誘電体メモリ）注1とReRAM（抵抗変化型メモリ）注2を中心とするシステムメモリLSIへの幅広い技術力を最大限に活用した柔軟な事業展開が可能となります。また、FSLは議決権30%を当面保有し、FSMのスムーズな独立移行を支援します。

ティーキャピタルは、FSMの高性能製品の実用化、普及および市場創出を実現した開発・設計能力、優れた性能を持つFeRAMによる安定性の高い事業展開を高く評価しており、また、今後の成長市場への展開による拡大ポテンシャルがあると考えています。ティーキャピタルは、日本のプライベート・エクイティ投資の揺籃期である1990年代後半より、優れた事業基盤を有する国内企業を対象とした投資活動を展開し、これまで複数の製造業や大企

業グループからの独立・再編型の投資案件に取り組んだ経験を有しています。今後は、これらの投資実績に基づく知見に加え、FSM の強みや特徴を活かしながら、独立した事業体制を構築し、これまでの事業戦略を着実に後押しすることで、FSM の更なる企業価値の向上を目指していきます。

なお、FSM は、本株式譲渡後も「富士通セミコンダクターメモリソリューション株式会社」の商号を当面継続し、現在の開発商品を従来と変わらず提供していきます。

【 FSM の概要 】

会社名 : 富士通セミコンダクターメモリソリューション株式会社
所在地 : 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目 9 番 1 (新横浜 TECH ビル)
代表者 : 代表取締役社長 曲渕 景昌
事業内容 : メモリ LSI 製品およびソリューションの設計・開発・販売
設立日 : 2020 年 3 月 31 日

【 関連リンク 】

富士通セミコンダクターサイト

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fsl/>

富士通セミコンダクターメモリソリューションサイト

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fsm/>

ティーキャピタルサイト

<https://www.tcap.co.jp/>

【 注釈 】

注 1 FeRAM : 強誘電体メモリ

強誘電体膜をデータ保持のキャパシタに利用したメモリ。電源を切っても内容を保持する。データの高速な書込み動作、低消費電力、書換え回数が多いといった ROM と RAM の長所をあわせ持つ。富士通セミコンダクターメモリソリューションでは、1999 年より量産開始。

注 2 ReRAM : 抵抗変化型メモリ

金属酸化物薄膜にパルス電圧を加えることで大きな抵抗変化を生じさせ“0”と“1”を記憶する不揮発性メモリ。

以 上

《本件に関するお問い合わせ》

富士通セミコンダクター株式会社 経営推進部

電話 045-755-7009

ティーキャピタルパートナーズ株式会社

電話 03-5223-3516

- ・ディレクター 内野 健二
- ・シニアヴァイスプレジデント 永井 圭輔
- ・シニアアソシエイト 野田 寛人